

筑紫丘高校同窓会会報

第50号
発行 筑紫丘高校同窓会
福岡市南区野間2-13-1 〒815-0041
電話092(561)0662
FAX092(561)0663
ホームページhttp://www.chikushiyaka-dousokai.com/
印刷 西日本新聞印刷

記念館、待望の落成



テープカットする田中会長(右)と白石校長

たどる足跡 深める絆

平成23年11月5日(土)午前10時、あいにくの雨でしたが、田中義明同窓会長、白石隆佳校長によるテープカットで念願の記念館(資料室)が開館しました。



視聴覚室で開かれた落成式

その後、常任幹事やPTA役員など70名の出席者が、学

校の沿革を記したパネルや展示品を鑑賞しました。
記念館の特徴は、展示資料だけでなく、写真やビデオテープをデジタル化した筑紫

丘アーカイブズです。
この日、見たい画像やビデオをタッチパネルで簡単に呼び出して懐かしい顔を見つけては、歓声が上がっていました。

見学後、図書館棟・視聴覚教室で落成式が行われました。この記念館はいわば三代目。初代記念館は昭和12(1937)年に筑紫中学校創立10周年記念事業として2階建てで

建設されました。昭和27年に現在地に移転後は、正門を入った右手の小高い丘の上に平屋で再建されましたが、図書館建設のため昭和39年に取り壊されました。今回の資料室建設の過程で10周年記念館の銘板が発見され、資料室を「記念館」と呼称することにまりました。そういう意味で「三代目記念館」です。(事務局)

現在の同窓会活動は、全学総会のほか、関東、関西などの支部、福岡市役所などの職域会、各学年会、部活動OB会など活発に展開されています。ご案内いただいた会合へは、可能な限り出席し、各会と本部との密接な連携に努めています。また、初めて全学支部長連絡会を開催。各支部の活動報告や本部への要望などがあり、大変有意義な会となりました。

さらに昨年初めて行った事業として、就職活動支援事業があります。これは前川理事(高49)の発案、主催で、大学・大学院在学中で就職希望者対象のセミナーを実施。同窓生間の連携のためにも大切な事業だと確信しています。

田中会長

伝統誇りに、一層の連携を

「就活」「基金」事業も多岐に

会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと拝察いたします。

わが同窓会は会員諸氏のご協力により、平成23年までで長年の懸案事項を解決してまいりました。

その一つが事務局の建設です。加藤事務局長と内田さんのお2人が、同窓会の心臓部としての役割を十分果たしてくれています。

二つ目は(財)筑高協会の解散と学校林の売却です。学校の生田参事事務長をはじめ関係各位のご協力で、大変難しい事業を県下に先駆けて処理することができました。協会解散によって、今後は学校への資金等の援助は同窓会から直接行うこととなりました。

三つ目は同窓会記念館の建設です。これは8代有吉会長が「創立70周年までに建てたい」と計画されたものです。本校創立85周年を前に、母校の変遷を写真や資料で展示公開し、改めて母校への愛校心を、帰属意識を高めてもらうことを主眼としたものです。

また地域のの方々や在校生の保護者、中学生などに筑高の伝統と偉業を周知せしめることも目的としています。



田中義明会長

白石校長

未来拓く人材育成

困難な時代、本校の使命



白石隆佳校長

平成24年の年頭に当たり、一言、ご挨拶申し上げます。本来ならば、新年の慶びのご挨拶を申し上げるところではあります。

展示されています。それは本校創立以来、多くの困難な時期があり、それを乗り越え、今日の日本の発展を築かれてきた本校生の軌跡でもあります。昨年、大震災や原発事故、夏の大洪水など、大きな災害が発生し、政治・経済などにおいても見通しのできな

平成23年度も残すところ3カ月になりました。学校行事も盛会に行うことができ、生徒たちはそれぞれの進路実現にむけて頑張っています。3年生は最後の追い込みにかかっています。将来のリーダーとして知識だけでなく人間として大きな度量を兼ね備えた、筑高生の育成に職員一丸となって邁進する所存です。今後とも同窓生の皆様のご支援・ご協力をお願いします。

新年明けましておめでとうございます。
平成23年の総会で岩崎郁夫実行委員長(高34)から擲を引き継ぎました。よろしくお願いたします。

平成24年度の定期総会は、6月2日(土)午後5時半から同8時まで、例年通り福岡市の「ホテルニューオータニ博多」で開催します。ただ、会場はこれまでの3階から、広い4階「鶴の間」に移します。創立85周年の今年のテーマ

建設されました。昭和27年に現在地に移転後は、正門を入った右手の小高い丘の上に平屋で再建されましたが、図書館建設のため昭和39年に取り壊されました。今回の資料室建設の過程で10周年記念館の銘板が発見され、資料室を「記念館」と呼称することにまりました。そういう意味で「三代目記念館」です。(事務局)

さらに昨年初めて行った事業として、就職活動支援事業があります。これは前川理事(高49)の発案、主催で、大学・大学院在学中で就職希望者対象のセミナーを実施。同窓生間の連携のためにも大切な事業だと確信しています。

また、10月19日に実施した第20回筑中・筑高ゴルフ大会でも、会費の一部とチャリティホールの設定で多くの義援金が寄せられました。当番回(高24回)からの寄付金と合わせて25万円となりました。これも11月9日に加藤事務局長が同窓会からの義援金第2弾として同事業団に寄託致しました。

この他、首都圏同窓会、関西支部でも総会で義援金の呼びかけが行われました。誠に有難うございました。(事務局)

「集丘語明」を合言葉に



定期総会に向けて
24年度総会実行委員長
小野健太郎(高35)

は、主題が「集丘語明(我ら丘に集い、いざ語り明かさん)」で、副題が「待とうよー」です。
母校で過ごした日々を思い出しながら「昔を・今を・未来を」みんなで語り合える場になりたいと思います。

今年一年の皆様のご多幸とご活躍を祈念いたしますとともに、総会でお会いできますことを35回生一同、心よりお待ちしております。

「待とうよー!!」
訂正
第49号の「松原桜賞」4人が受賞の記事で、福岡南区長賞1年「萩尾 渡」は「萩尾 凌」の誤りでした。訂正してお詫びします。
第49号の「剣士の青春は永遠」の記事で、OBの最高齢者は「田中潔さん」は「黒崎章さん」の誤りでした。訂正してお詫びします。